

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(2019年度実績)



(保存修理が終わった白鳥古墳の出土品)

令和2年12月

平生町教育委員会

目 次

	P
はじめに	1
学校教育課	
主要施策の成果	4
部活動応援事業	7
平生っ子学びのイノベーション事業	9
学び支援事業	11
学力向上推進事業	13
生徒指導環境整備事業	15
社会教育課	
主要施策の成果	17
未来を担う平生っ子の育成促進事業	21
平生町秋の文化行事	23
白鳥古墳出土品美術工芸品保存修理	25
文化財案内看板の改修、史跡の安全対策事業	27
スポーツ推進事業（町内駅伝競走大会）	29

【はじめに】

1 趣旨

少子・高齢化や高度情報化の進展など社会情勢の急激な変化に伴い、子どもたち一人ひとりが抱える課題が複雑化、多様化する中で、いじめの深刻化や規範意識の低下など多くの問題も指摘されています。このように時代が大きく変化する中、本町教育委員会では、第四次平生町総合計画において、「みんなの笑顔が輝くまち」という基本目標のもと、学校や地域において具体的な事務事業に取り組んでまいりました。平成23年度からスタートした前期基本計画の5年間の検証と施策の見直しを行い、後期の基本計画を策定し、平成28年度から取組を進めています。

また、平成27年の教育委員会制度の抜本的な見直しにより、「総合教育会議」の設置と「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」の策定が義務付けられ、本町においても、「総合教育会議」を開催し、平成27年6月に「教育振興基本計画」を策定したところです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の規定により、全ての教育委員会は、効果的な教育行政を推進するために毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

そこで、本町教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政を推進するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、2019年度の事務事業について、点検・評価を実施し、報告書にまとめました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び期間

点検・評価の対象事業は、「2019年度平生町の教育」基本方針の努力点及び「2019年度各課の基本的な考え方」の重点事項、その他の主要な事業から選定しました。

点検・評価の対象期間は平成31年4月から令和2年3月までとしています。

3 点検・評価の方法

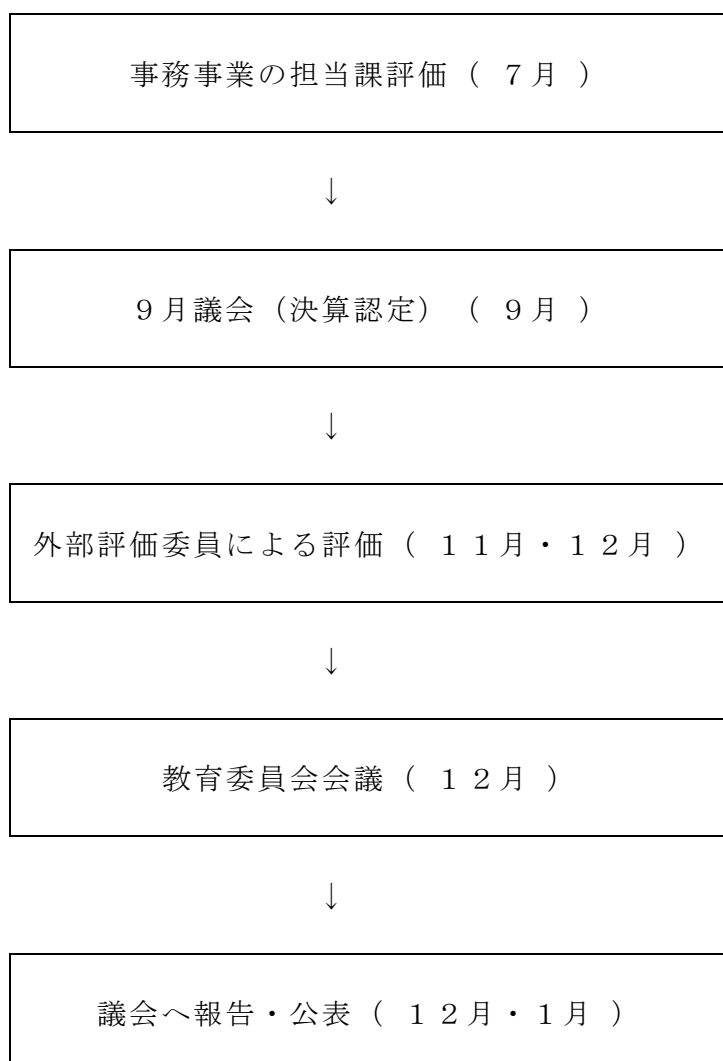
今年度も、昨年度と同様に教育委員会による自己評価と併せ、教育行政評価委員による外部評価を実施しました。

法第26条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会事務局が実施した自己評価による点検・評価の結果について、「平生町教育行政評価委員会」を設置し、下記の3名の委員から所見等をいただきました。

(敬称略)

氏 名	所 属 等
清 時 学	学識経験者
中 田 政 明	ひらお保育園長
福 山 圭 子	平生町小・中合同学校運営協議会長

4 実施フロー



5 まとめ

教育委員会の所管する事務の点検・評価については、教育委員会独自の自己評価（内部評価）に併せ、外部評価委員（教育行政評価委員）による対象事務事業の成果等の点検・評価を行いました。

2019年度の学校教育の基本方針「未来を拓く たくましい『平生っ子』の育成」に基づき、ICT環境の整備を行ったほか、子どもたちの自発的な学習意欲を支援するため、学び支援事業の実施、課題のある児童生徒や家庭の支援体制強化、特別支援教育の充実、幼・小・中の連携強化、家庭や地域との連携・協働を進めるコミュニティ・スクール事業、就学に関する支援などソフト事業を推進しました。

また、中学校において、部活動の質的な向上や教員の働き方改革を推進するため、外部から専門的な知識・技能を有する指導員を配置する事業に取り組みました。

社会教育の基本方針は「学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進」とし、青少年健全育成活動や子ども会活動の充実、生涯学習の推進として、町民憲章の具現化に向けた取組、まちづくり出前講座の実施、生涯学習サークルの紹介、人権学習講座の開催、図書館まつりの開催、文化財案内看板の改修、県指定文化財である白鳥古墳出土品保存事業、生涯スポーツの推進に努めるなど、ソフト・ハード両面において事務事業を推進しました。

評価対象事業については、新規事業を加え、継続事業を削除するなど、対象事業の整理を行い、学校教育、社会教育合わせて10事業としました。

今回、学校教育及び社会教育の10事業について、まず、事業の必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度の視点でもって、内部評価を行いました。

各事業は目標どおり、あるいはほぼ目標どおりに進捗しているという評価をし、この内部評価をベースに教育行政評価委員による評価が行われました。

教育行政評価委員からは、個別事業について、それぞれ意見が出されました。

個別事業に対する委員の意見を踏まえながら、次年度以降の施策に反映させていきたいと思っております。

学校教育

基本方針：『 未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成 』

学力の向上と確かな「生きる力」の育成

・全国学力・学習状況調査の実施にあわせ、**学力調査**を実施した。（小学校4、5年生、中学校1、2年生を対象）この調査結果に基づき、年度当初に対象学年の児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することで、その後の指導や家庭学習の改善等に役立てることができた。

・**平生っ子学びのイノベーション推進事業**として、各校にタブレット端末等を導入し、ICT環境の整備に努めた。

・**学び支援事業**として、実用英語技能検定の検定料の1/2を助成することで子どもたちの自発的な学習意欲を喚起し、学力の向上を図った。

・**英語指導助手**（ALT）2名体制で、中学校及び小学校の英語教育の充実を図った。

・**スクールソーシャルワーカー**（SSW）を配置することで、課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資する専門相談を行い、各学校の実情に応じた支援体制の充実を図った。また、SSWによる「共育相談会」を開催し、教育相談及び就学相談を行った。

・自己肯定感や喫緊の課題であるいじめ、対人ストレスなどを把握するための**質問紙調査「i-Check」**を実施し、不登校やいじめなどの早期発見や予防対策に活用した。

安全・安心な教育環境の整備

・平生小学校において、管理特別教室棟外壁落下防止対策工事と音楽室床改修工事、平生中学校において、管理特別教室棟屋根防水改修工事と通級教室床改修工事、給水設備改修工事を実施した。

多くの園児や児童が使用する遊具についても専門業者による点検を実施することで、安全で安心な教育環境を整備した。

幼・小・中の連携

・**幼保小中連絡協議会**において入学の際の子どもに関する情報交換、相互の授業参観の重要性を確認し合うことで、連携を強化した。

幼小の連携として、小学生と幼稚園児の給食試食会や小学生が幼稚園児を誘導しながら避難する合同避難訓練を行った。

小中の連携としては、全教職員の参加による合同研修会を開き、学力向上や授業の改善について協議することで交流を図った。

学校支援体制の充実

・小中学校に**学校支援員**を配置し、学習習慣の定着や個別指導の充実など、学力の向上を目指した指導を行い、個に応じてきめ細かな配慮のある教育を推進した。中学校において専門的な知識・技能を有する指導員を配置し、部活動の質的な向上、教員の働き方改革を推進した。

家庭・地域との連携

・町内小中3校の**コミュニティスクール**の活発化により、地域と連携した特色ある学校づくりが進んでいる。

3校相互の情報提供、情報交換をはじめ教育委員会からの情報提供を行うため、**小中合同の学校運営協議会**を実施している。各校で連携をとることにより、学校と地域が一体となった取組みを進めていくことを確認した。

また、幼稚園においても地域の支援ボランティア活動が盛んで、地域ぐるみで子どもたちを育てていく体制づくりが進んでいる。

特別活動の推進

・平生中OBの東北大学電気通信研究所誘電ナノデバイス研究室教授 長康雄氏を講師に招き、『研究者を生きる』の演題で講演会を開催した。長氏は中学生時代の話やこれまでの人生の中での体験、またナノデバイスの原理や研究内容について画像を交えて話をされ、生徒にとってはチャレンジし続けることが夢の実現につながるということを認識する貴重な経験となった。

就学就園に関する支援

・私立幼稚園に就園している園児の保護者への**幼稚園就園奨励費**、小中学生のいる家庭に対して学用品費、給食費、修学旅行費用などの一部を助成する**就学援助費**や**遠距離通学費**など保護者の経済的負担を軽減するための取組みを行った。

幼児教育保育無償化事業

・子ども・子育て支援法の一部が改正され、10月から幼児教育・保育の無償化が始まったことに伴い、平生幼稚園及び私立幼稚園の**保育料・入園料の無償化**を行った。

私立幼稚園の保育料無償化の導入にあたっては、利用者の手続き等の負担を軽減できるよう、柳井市・田布施町と事務取扱いの足並みを揃えた。

2019年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます		
事業名	部活動応援事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	中学校において、指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有する指導員を配置することにより、質的な向上(正しい理解に基づく技術の向上、生徒の能力に応じた適切な練習法の導入、想定される事故・ケガの未然防止)や教員の働き方改革(部活動指導に係る時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間確保、経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減)を推進する。		
事業の内容	平生中学校で実施される部活動において、部活動指導員を配置するために必要な経費(報酬等)の一部を補助する。(配置人数 5人)		
事業の対象	平生中学校		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	— 千円	— 千円	608 千円
決算額に占める特定財源額	— 千円	— 千円	405 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
事業の評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>日常の部活動指導を部活動指導員に任せられることで、その時間は別の校務に従事することが可能となり、勤務時間が減少した。また、専門的指導が可能になり、生徒の技術力の向上につながったとの意見もあることから、所期の目的を達成していると判定した。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な取組として評価する。 ・部活動指導員の配置により、学校関係者以外の人とふれあう機会が増えたことで人間性を養う効果も期待できる。 ・生徒の技術や能力の向上につながっている。 ・教員の負担軽減に有効な取組である。 ・令和5年の部活動改革に向けて、混乱のないよう生徒の視点に立って進められたい。
-------------	---------------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	平生っ子学びのイノベーション事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	<p>社会の情報化が急速に進展し、今後も更なる情報通信技術(ICT)の発展が予想される中、学校においてもICTを活用した「わかる授業」の実践や、児童生徒の「情報活用能力」の育成、校務の効率化等のニーズが高まっていることから、学校のICT環境の充実化を図る。</p> <p>子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために、高速大容量の通信ネットワークを前提とした児童生徒1人1台端末を整備する。(GIGAスクール構想)</p>		
事業の内容	<p>平生小学校:i-Pad 123台 佐賀小学校: - 平生中学校:i-Pad 35台、wifi環境整備工事</p>		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	1,507 千円	740 千円	7,110 千円
決算額に占める特定財源額	-	- 千円	- 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>平生っ子学びのイノベーション推進事業(3カ年事業)として、町内小中学校にタブレット端末、電子黒板、書画カメラ等を導入し、ICTを活用した「わかる授業」の実践や、児童・生徒の「情報活用能力」の育成に努めた。</p> <p>新学習指導要領において、情報活用能力が言語能力、問題発見・解決能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられていることから、各学校において、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えていく方針である。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTは今後益々重要なツールとなるので、児童生徒がなじみやすい環境づくりに期待する。 ・ICT環境が整いつつあることを評価する。 ・教える側の能力向上に努め、整備された環境をいかに活用するかを考えられたい。
-------------	---------------------------------------------	---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	学び支援事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	自発的な学習意欲を支援するため、実用英語技能検定の受検を促し、英語力の向上及び保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、検定料助成金を交付する。		
事業の内容	実用英語技能検定の検定料の1/2を助成する。(1年間に1人1回分を助成する。)		
事業の対象	平生中学校		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	82 千円	97 千円	91 千円
決算額に占める特定財源額	—	— 千円	— 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

判定説明考察	<p>助成金対象の受検者は3学年合計で61人で、1年を通して複数回、受検する生徒もおり、延べ受検者は104人で、昨年度に比べ1人の増加となっている。</p> <p>高校生1・2年生レベルの準2級を受検し合格する生徒がいた。</p> <p>また、平成30年度合格率67.0%から71.1%と4.1ポイント上昇し、一定の成果が出ていると思われる。</p> <p>令和2年度から取り組むオンライン英会話と組み合わせ、より実践的な英語運用能力の育成を図りたい。</p>
事業の方向性	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的に受検する環境づくりを期待する。 ・受検者数を増やす努力を望む。 ・英語は学習にとどまらず、広く活用されるものであることから、この事業をひとつのきっかけとして「英語を楽しむ」「英語力をつける」ことに波及させるよう努められたい。
------	----------	--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	学力向上推進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学力向上を図るために、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することで、課題解決に向けて、学校と家庭・地域等と一体となった取組を推進する。		
事業の内容	<p>標準学力調査は22年度から実施しており、児童生徒の学習到達度を評価するとともに、個人成績、学校用の資料提供を受ける。</p> <p>また、学力調査と併用して子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査「i-check」を実施する。</p> <p><標準学力調査の対象学年と教科></p> <p>○小学4年生 国語、算数 ○小学5年生 国語、算数</p> <p>○中学1年生 国語、数学、理科 ○中学2年生 国語、数学、理科</p> <p><i-check:対象学年></p> <p>○小学5年生、6年生</p> <p>○中学1年生、2年生、3年生</p>		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	461 千円	463 千円	409 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>・標準学力調査 小学校6年生と中学校3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査や県の確認問題等と併せての実施している。昨年度との経年比較により、数値の増加が見られることから着実に学力の向上が見られ、学校現場の負担軽減も図られている。</p> <p>・子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査「i-check」 「i-check」により、小5、6、中1～3を対象に実施した。不登校やいじめなどの予防対策をはじめ、学級の概要、児童生徒の個々の実態を把握することができ、生徒指導に活用している。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・標準学力調査の数値を他者と比べるのではなく、各個人の比較として捉え、学力向上につなげられたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	---------------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます		
事業名	生徒指導環境整備事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	園・学校間の連携により、つながる子どもの育ちに向けた取組を充実するとともに、学校における生徒指導、教育相談体制を充実させ、児童生徒の心の成長を促す指導を推進する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会研修会 心豊かでたくましい「平生っ子」の育成をめざして、園・学校関係者による年3回の協議会や公開保育・授業公開により情報交換を実施。 ・小中合同研修会及び出前授業 小中9年間を見据えた教育を推進するために、小中学校教員参加の合同研修会や中学校教員の小学校への出前授業を実施。 ・i-check(子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査) 不登校やいじめの未然防止や学校内の人間関係の把握・改善のために、小学5・6年、中学1～3年を対象に総合質問紙調査を実施。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー)配置 課題のある児童生徒や家庭への支援のために、教育委員会にSSW(スクールソーシャルワーカー)5名を配置。 		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	915 千円	659 千円	911 千円
決算額に占める 特定財源額	439 千円	390 千円	326 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会研修会 園・学校関係者が参加し、取組みの成果やそれぞれの課題、子どもたちの状況等について情報交換・協議を行い、幼保小中連携した全町あげでの取組みとなっている。 ・小中合同研修会及び出前授業 小中の教員同士の情報交換や課題意識の共有化を図るとともに、15歳の生徒像の共有化を図ることができ、今後の方向性について考えることができた。中学校教員による出前授業により、小学校高学年の子どもたちが抱える中学校での生活や授業への不安を解消するための手立てとして有効である。 ・町学力調査結果と『i-check』の相関関係から、学力向上を多角的に捉え、『たくましい平生っ子の育成』を推進していくための取組みの方針を考えることができています。また、児童生徒一人ひとりの自己肯定感や規範意識などを把握し、それを生かした学級経営や学級づくりに生かしている。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー)配置 課題のある児童生徒や家庭への支援のために、学校、教育委員会とSSWが連携しながら、対応にあたっている。社会福祉士という専門的な立場からの助言や家庭支援のための具体的な働きかけにより、着実な成果が見られる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各機関・団体の幅広い連携の下、子どもたちを見守る取組みを進められたい。
------	---	--------	---------------------------------------------------------------------------------------------

社会教育

基本方針：『 学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進 と学習成果活用の促進 』

青少年健全育成活動の推進

- ・青少年の犯罪防止と交通安全を目的に、**育成センター車による見回り**を行っている。また、**夜間防犯パトロール**については、防犯ボランティアと警察官共同で実施した。
- ・11月には、**平生町青少年健全育成推進大会**を開催し、少年の主張受賞作品の発表と表彰のほか、善行者の表彰を行った。また、大会アトラクションに熊毛南高等学校・前校長の川本稔先生を講師にお迎えし、「生徒指導とは」と題した講演を開催した。現役オリンピックの石川佳純さんなど一流選手を数多く指導した経験を基に、日頃聞くことができないエピソードをユーモアも交え講演していただき、来場者は楽しみながら学習することができた。
- ・**町子ども会活動**については、「**夏休み企画**」**子ども会研修旅行**を由宇青少年自然の家において8月に実施し、七宝焼きを作成した。2019年度は50人の児童とその保護者の参加があるなど、年々盛況となっているため、バス2台での実施となった。七宝焼きの焼き上がりを待つ時間を利用して「平生町郷土かるた」で楽しみながら郷土の歴史を学習した。また、2月には子ども達やその保護者が参加する、**ピザづくり**を平生町保健センターで実施した。2019年度最後の子ども会行事であることから、多くの参加者があり、6年生にとっても思い出深い場を提供することができた。
- ・2019年度**平生町成人式**を平生町武道館において開催し、122人の対象者のうち87人の新成人が参加した。平成30年度に引き続き式典終了後は地域振興課と連携し、記念行事を行い、町全体で新成人を祝うことができた。
なお、毎年平生中学校で実施している「**立志の集い**」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に延期となった。
- ・**スポーツ少年団**については、8団体から7団体へと1団体減少した。

生涯学習の推進

・生涯学習の推進については、町民憲章の第2項「**スポーツに親しみ きまりを守り 健やかなまちをつくりまします**」の具現化に向けて、取組みを展開した。2019年度からは**啓発ポスターや標語募集**を3部門（小学校低学年・高学年・中高校一般）に分けて募集を行い、ポスターについては47点、標語については419点と多くの応募があった。優秀作品については、秋の文化行事期間中に花いっぱい運動の優秀団体とともに、生涯学習表彰式において表彰した。

なお、11月28日から12月18日までの間、平生町総合文化展作品の一部を巡回展示する「**平生町ミニ文化展**」を町内小中学校のコミュニティ・ルームにおいて開催した。子どもたちは日ごろ見ることができない地域の名人が作成した作品をじっくりと鑑賞することができた。

・**生涯学習まちづくり出前講座**については、各小学校や地域の団体からの申し込みがあり、26回開催し、725人が受講した。また、広報の生涯学習推進だよりについては、2019年度から隔月とし、生涯学習の啓発やお知らせを掲載し、生涯学習の活性化を図った。

人権教育の推進

・人権教育と啓発を推進する事業として、**平生町人権学習講座**を8月2日、6日、8日に開催し延べ166人の受講があった。1日目は、臨床心理士の堀江秀紀氏をお迎えし、「心をつなぐコミュニケーション」と題した講演・ロールプレイを開催した。2日目は音楽ユニット「げんきなこ」の「元気さん」と「きなこさん」をお迎えし、「歌をうたって春にいる～パーキンソン病とともにたのしく生きる～」と題した講演会を開催した。3日目は、岩国市立通津中学校の加藤浩久校長をお迎えし、「人権教育の推進について～いじめ問題を中心に～」と題した講演会を開催した。町民だけでなく、多くの教員の参加があり、人権意識の高揚を図ることができた。

・**人権コラム**「つながり めくもり」を広報ひらおへ隔月掲載し、3月号で106回を数えることとなった。

文化活動の推進

・県指定文化財である白鳥古墳出土品のうち、青銅器、鉄器等の金属製品の腐食が進行していることから、劣化防止を目的とし、県指定文化財保存活用事業及び町補助金を利用した、**県指定有形文化財白鳥古墳出土品美術工芸品保存修理事業**を実施した。保存修理事業は白鳥神社が学校法人別府大学に委託し実施した。

・町指定文化財である「**神護寺木造毘沙門天立像**」の補修を、町補助金を利用し実施した。補修解体作業中、像の内部部材で追加工程が必要な欠損部が見つかったため、令和2年度への繰越事業となっている。

・10月9日、**第54回平生町音楽鑑賞会**を開催した。出演者に「弦楽四重奏団 Bienen Quartet」をお迎えし、本格的なクラシックの名曲やポップスを聞くことができた。また、小学生・中学生を対象にした昼の部の公演では、小学生が出演者と共演し交流を図るなど、上級者から初心者まで楽しめる内容であった。この公演により、来場者に弦楽による生のクラシックの魅力を伝え、芸術文化に対する意識の醸成を図ることができた。

社会教育施設の整備

・図書館駐車場横に設置している**文化財案内看板**について、情報が古いなどの改善点があったので、情報を更新し改修を実施した。また、横道忠右衛門顕彰碑に安全対策のため、安全柵を設置した。

図書館来館者の利便性向上のため、**書架の更新**を図るとともに、ブックポスト、ブラインドの修理交換を実施した。

・体育施設においては、スポーツレクリエーション公園の4連ブランコおよび2連ブランコの破損・腐食が進行していることから、回転吊具とチェーン座板の交換を行い、安心して利用できるように改善した。

堀川公園においては子育てサークル等よりかねてから要望があった**スイング遊具を2基設置**し、多くの子ども連れのかたの憩いの場として充実を図った。

武道館屋根改修工事においては金属部の錆が多く見られ、防食塗装では対策が難しいため、新たに金属屋根を覆う工法で行った。

読書活動の推進

・子どもたちが自主的に読書習慣を身に付け、生涯にわたって本と親しむことができる環境づくりを推進するため、「第二次平生町子ども読書活動推進計画」に基づき次の事業を実施した。

・家庭における読み聞かせの重要性を啓発するため、令和2年1月24日に編集者・作家である松田素子氏を講師に迎え、平生幼稚園において講演会を開催した。「**絵本が育てる心の根っこ～絵本誕生の現場から～**」と題した講演会では、保護者や一般の方など62人が参加した。日頃知ることのない絵本が出来上がるまでの絵本作家とのやりとりの様子を、ご自分の体験談を交えて分かりやすく話をされた。絵本が子どもたちに与える影響について話されていた時は、特に熱心に聞かれていた。

・親子で楽しむ絵本講座として、12月14日に「平生町おはなし会」によるクリスマス会を行い、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、工作などにより、多くの子どもたちが楽しい時間を過ごすことができた。

・「夏休み子ども移動図書館 子ども文庫」を町内3か所で開催し、夏休み期間中の読書環境の充実に努めた。また、「児童向け移動図書館」として、小学校へ915冊の配本、「幼児向け移動図書館」では、保育園へ270冊の配本を実施した。

・本に親しむイベントとして、ひらお図書館まつりを10月に開催した。「本のリサイクルコーナー」や「平生町おはなし会」による絵本の読み聞かせやお勧めの絵本の紹介コーナーなどのほか郷土カルタ大会のイベントにより、多くの来館者を迎えることができた。

一般向けの取組として、館内の展示コーナーや掲示板、広報で新着本の紹介を行ったり、希望図書のリクエストを受けるなど、読書機会の拡大を図った。

・「平生町おはなし会」の皆さんの約30年に渡る図書館や幼稚園、保育園、小学校での読み聞かせ活動などの取組みが認められ、子どもの読書活動優秀実践団体として、4月に**文部科学大臣表彰**を受賞された。

歴史民俗資料館について

・歴史民俗資料館では**特別展**として、6月から8月にかけて『久保白船展「ふるさとの自由律俳人」』、11月から12月にかけて「鑑賞石展」をそれぞれ開催した。このたびの「久保白船展」においては、近年、親族から寄贈された町民への未公開作品を中心に展示した。多くの来館者があり、平生町が誇る偉大な文化人の功績に触れることができた。

また、歴史民俗資料館を多くの人に紹介するため、リーフレットを作成した。

なお、3月中旬に予定していた**歴史講座**は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

生涯スポーツの推進

・6月2日（日）に**山口県スポーツ推進委員研修会**の実技会場として平生町武道館でコンディショニングとエクササイズを実施し、約100名の参加があった。

生涯スポーツを推進するためにバレーボール大会等の各種スポーツ大会を開催した。なお、**ファミリースポーツレクリエーション大会**については、10月20日（日）に開催し、453人の参加があった。

平生町駅伝競走大会については、11月10日（日）に全長11.9kmのコースで実施した。5区間の部門と7区間の部門で38チームの参加があった。

2019年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	青少年健全育成活動を推進します		
事業名	未来を担う平生っ子の育成促進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	青少年健全育成活動を地域で展開する町民会議地区会議に対して、各地区の独自事業の取り組みを支援することにより、心豊かな平生っ子の育成を図る。		
事業の内容	青少年育成町民会議地区会議(7地区)が実施する地域活動(工作教室・クリスマス会・ケーキ作り等)の活性化を図るため助成金を交付する。		
事業の対象	町民		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	87 千円	87 千円	99 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>・平成24年度から実施している育成促進事業は2019年度で8年目を迎えた。事業開始から毎年度全ての地区会議から申請があり、事業を十分に活用していることが伺える。また、地域の方々が子どもを育む事業の貴重な財源となっている。</p> <p>・事業開始から令和4年度で10年の節目を迎えるため、今後の方向性を決定する必要がある。今後の方向性としては、①助成金廃止②減額実施③コミ協に依頼(財源なし)④引き続き実施等が考えられる。</p> <p>・各地区会議において、事業内容を毎年見直すことにより、子ども達の参加意欲の向上を図る努力が見られる。併せて、3世代交流などの要素を盛り込むことにより、地域の活性化や、郷土愛の醸成にも寄与している。</p> <p>・助成金を廃止すれば全地区での事業実施は難しい状況ではあるが、各地区会議の自主性を育成する必要もある。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・必要な事業であるので、現状に応じた見直しを行いながら財源を確保し継続して欲しい。</p>
-------------	-----------------	---------------	--------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯学習を推進します		
事業名	平生町秋の文化行事		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	町内各地域交流センターで活躍している文化協会加入団体や各種生涯学習団体、町内小・中学校、高等学校の生徒が日頃の学習成果の発表を行うとともに、平生町の文化の振興に顕著な功績のあった団体や個人の表彰を行う。		
事業の内容	<p>11月2日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平生町総合文化展開会式 ・生涯学習表彰式 <ul style="list-style-type: none"> 文化協会表彰・・・5名 花いっぱい運動表彰・・・24の団体・個人 町民憲章具現化表彰・・・ポスター 10名、標語 10名 ・平生町総合文化展 ・ふれあいコンサート ・屋外バザー・・・4店舗 <p>11月3日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平生町総合文化展 ・町民音楽祭 ・屋外バザー・・・9店舗 		
事業の対象	町民		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	43 千円	78 千円	51 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下まわる

<p>判定説明考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰式については、平成29年度から平生町男女共同参画川柳コンクール表彰も併せて実施することとなったため、地域振興課も式典の進行について共同での運営となっている。新たな分野の表彰が加わったことにより、秋の文化行事は平生町生涯学習成果の発表の場としての重要度が更に増してきている。 ・町内の小・中学生と熊毛南高校の生徒が一堂に会するふれあいコンサートは、貴重な行事となっている。 ・2日間に渡る文化行事が低予算の中、ボランティアで運営され開催できる事は、平生町の生涯学習に対する意識の高さがうかがえ、生涯学習の推進を図るための重要な事業となっている。 ・行事の運営はボランティアにより行われているが、高齢化により、行事の運営に支障が出ている状況。中でも会場の設営・撤去については、作業量が多く重量もある備品の設定を伴うため、会場設営の一部については、業者への委託も考慮する必要がある。 						
<p>事業の方向性</p>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/>さらに重点化する</td> <td><input type="checkbox"/>現状のまま継続する</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する</td> <td><input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する</td> <td><input type="checkbox"/>単年度で終了</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する					
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了					

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・秋の中心的な行事であるため、参加者の増加につながるよう継続して欲しい。</p>
-------------	-----------------	---------------	---------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	文化活動を推進します		
事業名	白鳥古墳出土品美術工芸品保存修理		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	県指定文化財である白鳥古墳出土品のうち、青銅器、鉄器等の金属製品の腐食が進行していることから、劣化防止を目的とし、県指定文化財保存活用事業及び、町補助金を利用し保存修理を実施する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼先: 学校法人別府大学 ・事業費: 541,200円 ・補助金: 県270,000円、町135,000円 ・保存処理品: 青銅製品7、鉄刀片3、鉄器片6 合計16個 ・期間: 2019年4月10日～2020年3月25日 		
事業の対象	白鳥神社		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	135 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	0 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>・山口県指定史跡「白鳥古墳」は古墳時代前期から中期にかけてつくられたと言われており、県内では40基以上の前方後円墳が確認されている中において、最大級の古墳 出土品は1749年の白鳥神社社殿造営の際に神獸鏡、巴形銅器、鉄斧、鉄刀、管玉等が発見された。 ・遺物の状態はさまざまだが、おおむね芯部まで腐食が進行しているため、保存処理が必要な状態となっていた。この度の保存修理は、出土品のうち金属製品に限定して実施し、処理前調査、クリーニング、洗浄、脱塩処理、樹脂含侵、接合・復元、処理後調査を実施し、出土以来初めての大がかりな保存事業となった。 この度の保存処理により、本町の貴重な歴史を次世代に継承することができた。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/>2019年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・大切な歴史的遺産なので適切な管理・保管に努められたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	-------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	文化活動を推進します		
事業名	文化財案内看板の改修、史跡の安全対策事業		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	図書館駐車場に設置している文化財案内看板を活用しやすくするために、情報が古いなどの問題点があるので改善する。 飯山塾跡地(白井小介が子弟に指導していた)に複数の雑木が繁茂し、跡地見学に支障をきたすなど、景観面や安全面に問題があるため、雑木の剪定を実施する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財案内看板改修 231,120円 ・飯山塾跡地雑木伐採・処分 216,000円 		
事業の対象			
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	448 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	0 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館駐車場横に設置している文化財案内図について、内容の変更を行った。記載内容について、郷土史研究会とも協議し、図案を作成した。また、併せて躯体の補修と安全対策(取付ボルト交換・ワイヤーによる落下防止)を実施し、看板の長寿命化と来訪者の安全確保を図った。 ・飯山塾跡地に20m程度の雑木数本が繁茂し、落ち葉等により周辺住民に迷惑をかけている状況もあり、周辺住民からも伐採の要望が多くあった。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 2019年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財については定期的な点検をし、文化財等の周辺についても危険がないように美化に努められたい。
------	----------	--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

2019年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯スポーツを推進します		
事業名	スポーツ推進事業(町内駅伝競走大会)		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	スポーツの推進と親睦融和を図り、併せて生涯スポーツ推進の一環として町民のスポーツに対する気運を醸成する。		
事業の内容	平生中央児童館前を出発、佐賀小学校をゴールとする平生町内を走る全コース11.9Kmの駅伝競走大会を実施する。小学生・中学生女子・一般2部・一般女子の部は7区間で、中学生男子・一般1部の部は5区間で行う。 平生町体育協会及びスポーツ推進委員協議会が主管となり、多くのスポーツボランティアの協力で運営されている。		
事業の対象	町内団体(学校、企業、地域)		
年度	平成29年度	平成30年度	2019年度
事業費(決算額)	978 千円	1,103 千円	1,189 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	C	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>参加申請チーム数38チーム(小学校:5チーム、中学校男子:12チーム、中学校女子:7チーム、一般1部:5チーム、一般2部:7チーム、一般女子:2チーム)の申込があった。昨年度は43チームが参加。 駅伝の運営において専門的な陸上競技関係者が高齢化している。 長年審判長をされた方が、2019年度をもって勇退される。 交通事情に鑑みると、警察から警備員などの配置を求められるところもあり、見直しが必要となっている。 また警備会社への委託料も増え、警備会社も労働時間の管理等で土日勤務において人員確保が難しい。 バスの借上げ料も昨年度より大幅に値上がりされた。 子ども、児童数の減少に伴い将来的に佐賀小学校のチーム編成が難しくなる。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input checked="" type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・伝統ある駅伝競走大会であるので、大会継続について子どもの減少、安全確保等、諸事情を考えながら大会のあり方を検討されたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	----------------------------------------------------------------------